

熊野三山奥の院

おおすぎ

玉置之巨杉



発行 玉置神社
平成31年1月吉日
電話 0746-64-0500
FAX 0746-64-0429
〒647-1582
奈良県吉野郡
十津川村玉置川1

今までの「神代之風」は、「熊野三山奥の院玉置之巨杉(おおすぎ)」と改名し、再出発することと致しました。玉置神社への信仰心の回帰をめざして参ります。読者の皆様方のご意見・ご投稿など多くのご支援をお待ちします。



平成31年玉置山頂初日の出

ごあいさつ

新年明けましておめでとうございませす。平成最後の年を迎え、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

私こと、舛谷武は、昨年(十一月一日)の歴史・伝統ある玉置神社の宮司代務者を拝命いたしました。日々、身の引き締まる思いでござんさせていただきます。

地元十津川村小井で生を受け、東京の学習院大学を卒業、その後、防衛省に入省(中部方面総監部、陸上幕僚監部等で勤務)し、退官後、大阪國學院(二年制の通信部)で神職の資格を取得しました。神職になりましたのは、父が神職であったことが大きな理由であります。

皆さまもご存知の通り玉置神社は、熊野三山の奥の院であり、日本有数の古社でもあります。そして、世界遺産であります。この十津川村で、世界に誇れることのできる唯一のお社でございます。本当に素晴らしいことではありませんか。

この先人達から受け継いだ玉置神社を命がけで守り、そして後世に伝えていくことが、玉置の大神から私に与えられた責務であり、宿命だと思っております。「明き・清き・直き・正しき真心」を以て、誠心誠意お勤めしてまいります。よろしくお願いいたします。しかし、責任役員をはじめとして、氏子・崇敬者様のお力添いがなければ、私一人の力では何もできません。ただ有り難いことに、今年の年末年始には責任役員・氏子総代の皆様全員登っていただき、清掃を始め、年末年始の行事に奉仕してくれました。少しずつ、地域の皆様が神社に回帰されているのを実感しております。この靈験あらたかな玉置の山に鎮座します玉置神社は、氏子・崇敬者様を始めとする皆様の神社でございます。

この神社を未来永劫守っていく所存でございますので、皆様のご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

平成三十一年一月吉日

宮司代務者 舛谷 武



十二月七日 山之神例祭

午前十時より齋行いたしました。

「起きて、水みて来いよ。」まだ、小学校に上がってない私は、朝から祖父に起こされました。二百メートルほど先の水源地に行つて、水を連れてくるのを命じられたのです。昭和三十年代、十津川の家では、竹の樋とで水を引いていました。子どもの役割は、風ですれた樋を調整し、水路を遮る落ち葉を取つて水を通すことだったのです。その時、「今日も怪我をしませんように」と山の神にお願ひすることが日課でした。衣食住の全てを山の恵みに頼つていた十津川では、山の神への拝礼は、生活の一部だったので。家々でも、磐座や巨木を山の神として拜んでいましたが、大字ごとにも山の神がありました。玉置神社の山の神には、これら十津川村の人々の篤い信仰心が集まっています。

十二月二十五日煤払すす神事

新年を迎えるにあたり、御本殿の大掃除ともいえる煤すす払い神事を執り行いました。祓、祝詞奏上の後、ご本殿に上り、一年の御神徳に感謝し、切り出したばかりの笹でご本殿の天井や御殿の屋根の煤すすを払いました。



今日では、もはや煤すすとは無縁の生活になっています。かつて「煤すすが無い」というのは、籠かまどが焚けないほど、「食べるものが無い」ということでした。ですから、新年を迎えるに当たつて、「新しい年も、たくさん煤すすが付くように」と感謝を込めて煤すす払いを行ったことと思ひました。

十二月三十一日年越大祓式

年明けを控えた十二月三十一日午後三時から大祓詞を奏上し、この半年に身心についた罪・穢れの一切を祓い清めました。人形代ひとがたしろに身体の調子が悪いところを撫でて息を吹きかけ、穢れを還した後、焚上されました。

十二月三十一日除夜祭

大晦日の午後五時から除夜祭が斎行されました。この一年を無事に過ごせたことに感謝すると共に、次の年の安寧と繁栄を祈り、心身を清め、新年を迎えるために行われました。深夜零時からは、「新春一番太鼓」が参拝者一人一回の順番で百八回叩かれました。響き渡る太鼓の音によつて悪疫退散・繁栄弥栄・健康長寿等を願ひました。参加者には絵馬が撤下されました。

一月一日歳旦祭

元日朝七時、宮中および全国の神社で行われる年頭の祭儀「歳旦祭」が斎行されました。新しい年の訪れを寿ぎ、皇室の弥栄と国家の隆昌、世界の平和、さらに良い年となるよう祈りました。

弓神楽奉納されました

神楽殿において、太古より受け継がれている玉置神社独自の男神子が優雅に舞う「弓神楽」が終日奉納されました。



一月二十八日古神札焚上祭

「古神札納入箱」に返納された、古神札やお守り等のお焚き上げ祭が斎行されました。当社の神札をはじめ、お守り、神宮大麻、他社の御札の他、破魔矢、熊手などの縁起の品、古い神棚等に宿つて居られた神様をお祓い・祝詞奏上の後に忌火(いみび)によつて元の社へお帰り戴きました。

振る舞いぜんざい

ぜんざいチーム Eー



玉置神社では、三が日、ぜんざいを振る舞いました。天候にも恵まれ、多くの参拝者で賑わうなか、ぜんざいチームはフル回転！。最初に準備していた三百食は、あつという間になくなり、追加！追加！小豆を炊く、また炊く。いや〜。心づもりはしてたけど◎嬉しい悲鳴をあげていました。村外の参拝者が多い中、村内からの参拝者もかなり戻ってきたのがうれしいですね◎

年末年始ボランティア

沖縄 T T

私にとって、玉置神社は「仲良しの心地よい存在」です。というのは、一昨年お参りをしたときに、ボランティアのことを知り、去年の正月からボランティアとしてお世話になっています。今年はどうと、職員さん同士のコミニケーションが親密で、より心地よかったです。玉置神社には、これからも「仲良しの心地よい存在」で在り続けてほしいと思っています。



今後の玉置神社への思い

氏子総代 T T

今後の玉置神社は、やはり氏子や崇敬者の心の拠り所として、牽けて行かなければならないと思っています。その為には、氏子や崇敬者の皆さんから親しまれるよう、氏子総代として努力していきたいと思っています。



わたしと玉置神社

村内在住 A-

私の玉置神社の思い出は、二つあります。一つ目は、小学校の時のキノコ狩り遠足です。なんでも、とても遠く山の中まで行ったという思い出があります。それから、二度目に行ったのは、去年のことで、東京の姉と、久しぶりに、玉置神社に行こう。と、行ってみたことです。姉と共にご祈祷もお受けし、山頂も登りました。その時に感じたことは、小学生の時には感じなかった人の多さでした。

玉置神社は重要な聖地

中部在住 M T

熊野神道と伊勢神道と吉野の修験道と高野の密教という、違った宗教宗派のものが熊野古道という道で一つに繋がっている聖地。こんなのは日本にしかありません。これだからこそ世界遺産なんですよ。玉置は、最も重要な聖地です。数年間コタコタの中にありましたが、皆で力を合わせて、これからしっかりと立て直していかなければなりませんよ。私も外部の者として、大切に守っていききたいと思っています。



奉仕作業

玉置神社は、先の年末年始ボランティアをはじめ、責任役員・氏子総代・氏子・崇敬者の皆さんの奉仕作業によつて支えられています。

神社では、見えない場所での傷みが激しく、近くで神社を守つてこられた皆さんでないといふ気がしない修復を、奉仕作業として行つて頂いています。奉仕作業の皆様からの感謝を申し上げます。

今玉置神社でしていること

玉置神社は、明治四年の太政官布告によつて「郷社」の認定を受け、「通行手形の発行」等生活を守るとともに、心の拠り所としての役割を果たしてきました。今玉置神社では、職員一丸となり十津川村の関係者を訪問するなど、地域の皆さんの信仰心の回帰に努めて居ます。

今後に向けての取り組み

飲料水の確保・雨漏り・トイレ他施設の改修等に向けて取り組みを進めています。



社務日誌より

- 10/16(火) 献湯祭 注連縄奉納奉仕23名
- 10/20(土) 弓場宮司 退任
- 10/21(日) 参拝・襷絵拝観 新十津川町老人会6名 村より2名 案内
- 10/22(月) 参拝・襷絵・ヒュウラベルサービスマンの休日クラブ14名
- 10/23(火) 宵宮祭 参拝、丸田千葉両責任役員他9名
- 10/24(水) 玉置神社例祭 参拝者150名
- 10/26(金) 清掃奉仕、丸田・玉置両責任役員、温井・泉宮村・玉置各総代
- 11/1(木) 外谷武官司代務者就任(以下外谷宮司)
- 11/3(土) 参拝・襷絵拝観 新十津川町民生委員、児童委員協議会16名
- 11/4(日) 正式参拝 太鼓奉納重要無形文化財総合指定保持者能楽師 唯方大倉流太鼓大倉正之助氏一行21名
- 11/10(土) 参拝、クラフツリーズ66名
- 11/13(火) 参拝、朝日旅行12名
- 11/14(水) 参拝、毎日新聞旅行12名
- 11/16(金) 参拝・襷絵拝観、新十津川町消防団員永年勤続者研修一行9名、村より中南議長他3名 随行
- 11/17(土) 参拝、クラフツリーズ43名
- 11/22(木) 境内襷絵他撮影、テレビ・YouTube・NHK新日本風土記「用」
- 11/23(金) 境内襷絵他撮影、テレビ・YouTube・昨日の続き
- 11/24(土) 責任役員会、丸田千葉 玉置各責任役員
- 11/26(月) 総代会開催 丸田千葉 玉置各責任役員、伊葉中畑 温井 玉置 泉宮村各総代
- 12/7(金山) 山之神例祭、参拝(株)十津川造林・中林業・十津川森林組合・十津川木材協同組合 奈良県南部農林振興事務所 林業振興第二課 十津川村役場産業課 東造林
- 12/9(日) 初雪
- 12/19(水) 村教委浦課長他面談、外谷宮司・江頭
- 12/25(火) 煤松神事齋行
- 12/26(水) 襷絵撮影 龍谷大学教授神田雅章氏、村教育委員会、藤重 季恵氏来社
- 12/28(金) 積雪5センチ
- 12/30(日) 午後より久保稔・玉置卓馬ボランティア奉仕
- 12/31(月) 年越大祓 除夜祭
- 1/1(火) 歳旦祭 出雲大社玉置教会月次祭
- 1/3(木) 参拝 太陽エンジニアリング(株) 十津川サイクルセンター8名 年始挨拶、念法眞教十津川念法寺3名
- 1/8(火) 参拝、県議会議員秋本登志嗣氏一行12名

今後の祭の予定

- 三柱神社初午祭(例祭) 3月10日(日)
- 出雲大社玉置教会祖霊祭 3月21日(木)
- 玉石社例祭 5月13日(月)
- 出雲大社玉置教会例祭 5月14日(火)
- 夏越大祓 6月30日(日)
- 大日堂大祭 8月8日(木)



編集後記

年始早々の「雪化粧」綺麗でした。

今回の記事は、ご投稿の中から、玉置神社への声を代表するご意見を選び、掲載させて頂きました。初めての編纂となり、遅れないようがんばりました。次回は、6月発行の予定です。引き続きご投稿お願いします。